

西始良校区コミュニティ協議会だより

あいらニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



くすみん

第23号 令和4年1月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 前田昇一

あけましておめでとうございます 今年こそいい年に・・・!!



今、思うこと

西始良小学校 校長 二宮 伊佐武

令和四年、五黄の寅年（パワー溢れる年と言われる）を迎えました。保護者を始め、西始良校区にお住いの皆様には、いつも本校教育への御理解・御支援を賜り感謝申し上げます。

さて、私も西始良に住み始めて早いもので一年七か月が過ぎようとしています。そしてこれまで、多くの皆様とお話しする機会がありました。その中で、校区コミュニティ協議会の歴史として現在の役員の皆様を中心に、新興住宅地である西始良を「子供たちが自慢できる故郷に、誇れる故郷に」と、街づくりに尽力されてきたことに感心するとともに感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、学校としてもますます子供たちのためにできることを精一杯頑張らねばと決意を新たにしているところです。

一方、学校においても、児童数の減少や子供会への加入率の減少が話題になるなど、西始良校区も成熟期を迎え、若い世代へのバトン渡しや課題ではと考えているところです。価値観の多様化が言われる中、一朝一夕にはいかない面もありますが、学校も一緒になって知恵を出し、ますます西始良を盛り上げていければと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。

西始良小学校保護者の方々へ 各自治会子ども会への加入を お願いいたします!

今年六月、子ども会の活動が認められ県子ども会育成連絡協議会から栄えある表彰を受けました（写真）。

残念なことに、活動内容は充実しても各子ども会の加入率は年々減少し憂慮しています。（令和三年十二月一日現在五七・三％）

これを機会に、子ども会への加入をお願いします。校区コミュニティ協議会では、青少年育成部を中心に子どもたちが将来「誇れる故郷」を振り返ることが出来る活気あふれる環境づくりを進めています。西始良校区で育つ青少年の健全育成は、校区全体で責任を持つ気概が大事だと思えます。子ども会育成会役員の方々も、頑張っておられます。是非、各自治会の子ども会加入をお願いします。



県子ども会育成連絡協議会からの表彰は、西始良の子ども会活動が、校区コミュニティ活動と連携して進められていることが評価されたものです。

編集後記

事務局長が少し体調を崩され、代理編集員として不慣れな仕事をする事となった。この間、年に三号ペースでこのコミュニティ便りを創ってこられた事務局長。記事から写真・挿絵など、各号に細かな工夫が施されていたこと、改めて感心させられた。出来上がった今回号。いかなる評価が出るか、心配でたまらない。

コロナ禍の中、新聞に載る世情は暗いニュースが多い。その中で、このコミュニティ出身の星子啓太さん（二十三歳）が、剣道全日本選手権で優勝された記事は、私たちを元気づけ勇気づけるものである。人間社会のありとあらゆる現実をしっかりと受け止め、前に進む覇気だけは失わないこと。彼の十一月三日文化の日、闘い終わった爽やかな雄姿がそう物語っているように思えた。益々の活躍を期待したい。

〔文責 濱田健一〕



年頭のご挨拶

会長 前田 昇一



西始良校区の皆様、明けましておめでとうございます。

西始良校区の皆さま、明けましておめでとうございます。令和四年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年間行事・イベントが中止となり、感染対策に明け暮れるかつてない厳しい年となりました。未だに終息の気配を見せておりませんが、引き続き十分な手洗いやマスク着用・三密の回避など、感染症対策へのご協力をお願いします。

終息の暁には、校区コミュニティ協議会の「向こう三軒両隣、気配り助け合い」のキャッチフレーズを合言葉に、気軽に参加・気軽に楽しめる企画を開催し、住民同志の絆づくりを目標にして、西始良校区の皆さまが笑顔で暮らせる元気な街づくりを目指します。また、青少年の健全育成活動や環境美化活動、高齢者の見守り活動などの安心安全に暮らせる地域づくりに努め、校区の活性化を図って参ります。今後とも、西始良校区コミュニティ活動へのご理解とご支援・ご協力をお願いいたします。そして、皆さまにとって健康で幸多き年でありますことを祈念し、年頭の挨拶の言葉と致します。

何時も子どもたちの笑顔を

県住自治会長 鶴 宗太郎

県住自治会の目指していることとして、「元気で支え合う、笑顔あふれる付き合い」という事を心掛けています。コミュニケーションも必要な事です。その中で皆さんとの「飲みケイション」が一番でしょう。このご時世、行事や出会いが少ない分残念ですが、何時の日かはける日を楽しみに待ちたいものです。

先日団地内の公園にて、子どもたちがブランコに乗って靴を飛ばして遊んでおりました。私が通りかかった時、たまたま一人の子の靴が山桃の木に引っかかり、その子は泣き始めました。私は家から洗濯竿を持って来て、奮闘してみましたが落すのは無理でした。私も諦めて最後の一発と、山桃の木に蹴りを入れたら上手く落ちてきてくれました。そしたら、子どもたちから沢山の拍手をもらいました。

この子供たちの笑顔を私たち大人が守ってあげないといけないと思いました。昔みたいに泥んこになって、汚れて遊んでも笑いが絶えない団地を目指したいものです。



「加勢してください！」

西自治会長 清水 裕二

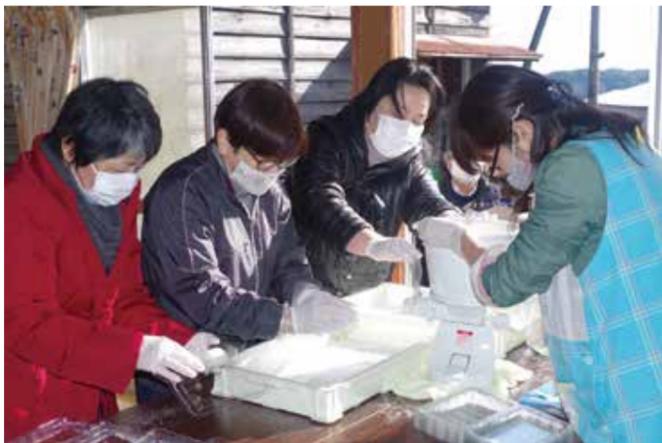
「飲ん方を すっかせんかで 決まっ加勢」先日、NHKのさつま狂句に投稿された句に、思わず「ニヤッ」とさせられました。コロナ禍で自治会活動が制限され、行事を行っても何だか盛り上がりに欠けた、モヤモヤとした二年間でありました。

夏祭り、運動会、敬老会など、お楽しみの飲食が伴わないと成り立たない行事は多いです。飲食はコミュニケーションを深め、お互いを理解し合う大切なツールの一つであると確信し、新年度は「飲ん方」

が出来て、大勢の加勢が集まることを祈るばかりです。

最後に、

西自治会が永年続けている独自の行事に「新春餅つき大会」があります。子どもたちとお



もえ《萌え》の

兆しを求めて

南自治会長 濱田 健一

希望を持ちたい新しい年。それぞれのお宅で穏やかに迎えたい事と存じます

「マスク・手洗い・うがい」が日常の姿となつて二度目の正月が来しました。「見えない敵」との共存は、心身ともにポデーブローのようなダメージを受けているような気がします。

その様な世情ですが、「ソーシャル・ディスタンス」から「ソーシャル・クラウド(密接)」が生まれつつある予感がします。マスク越しでも直接に顔を見て話せることの安堵感。集会所の集まりで、上手な手洗い方法を教え合う子どもたちの喜々とした姿。ニュータウン二世が何世帯も一世の近くに住んで、親たちに心を寄せる姿等、新たな生活の仕方、感覚を垣間見るよう嬉しくなります。

「腐れ縁」的「絆」では無く、人間の温かみのある、かつての「もえ」の感覚での『生きていく希望の兆し』を探し続けたいと思う新年です。今年も「にっこりお隣さん」で行きましょうね。



北自治会への思い

北自治会長 前田 昇一

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまには、日頃から自治会活動にご協力を賜りありがとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染防止の観点から、ほとんどの行事が中止となり寂しい年でした。そういう中でも三密防止を意識した校区ランドゴルフ大会は、好成績と楽しく親睦を図ることができ、参加者からは感謝と喜びの声が聞かれて、少しの安堵と成果を感じました。本年も、笑顔で安心・安全に暮らせる地域づくり、花いっぱい街づくりを拠点に夢あふれた魅力ある北自治会を目指して参ります。

皆さま方の一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして本年が、コロナ禍の早い終結と皆さまにとって健康で幸多き年でありますことを祈念し、新年の挨拶と致します。



新しい年に希望を

東自治会長 下川路 久夫

早いもので、力不足ではございますが、会長として六年目の正月を迎えることになりました。自治会の皆様方には、色々とご協力頂き大変感謝しております。さて、昨年、一昨年とコロナの発生により、行事等がまったく行えず非常に残念でした。

東自治会としては、令和四年度は三年前の最下位だった運動会のリベンジ等、各行事が皆様のご協力のもと、行えることを願っております。

